

阿寒町に  
ようこそ!  
11月号

「阿寒の暮らしを見く  
ツアーア実施!」

9月22日から25日の4日間、「阿寒町の暮らしのぞき見ツアー」を実施しました。ご参加くださいましたのは、北海道移住や阿寒町の暮らしに興味を持っている、北海道外にお住まいの3名で、私たちのSNSや募集チラシを見て応募してくださいました。

私たちには、移住を検討していたり、地方暮らしに興味を持っている方々に対しても、「知らない環境に飛び込む上で、不安なこと



を一つでも多く解消できれば」という思いがあります。そのため、本ツアーアは阿寒町の「暮らし」が見える内容にしました。

私たちがガイドとなり、町民がよく利用するお店や生活施設などを紹介しながら巡る「阿寒町ぐるっと巡りツアーア」や、阿寒町に移住した人たちとの交流会を行いました。他にも阿寒町のことを深く知つてもうため、エゾシカ学習館と阿寒国際ツルセンター【グルス】を見学しました。さりに冬の暮らしのイメージを具体的に持つていただきけるよう、ストーブや光熱費などについてお話しし、除雪グッズの紹介や水落とし体験なども行いました。特に冬用ワイパーや灯油タンクを見て驚く様子が印象的で、「北海道に住んでいると当たり前に感じている生活が、本州に住んでいる方にとつては普通じゃないんだなあ…。」改めて感じました!



本ツアーアは阿寒町の「暮らし」が見える内容にしました。

私たちがガイドとなり、町民がよく利用するお店や生活施設などを紹介しながら巡る「阿寒町ぐるっと巡りツアーア」や、阿寒町に移住した人たちとの交流会を行いました。他にも阿寒町のことを深く知つてもうため、エゾシカ学習館と阿寒国際ツルセンター【グルス】を見学しました。さりに冬の暮らしのイメージを具体的に持つていただけるよう、ストーブや光熱費などについてお話しし、除雪グッズの紹介や水落とし体験なども行いました。特に冬用ワイパーや灯油タンクを見て驚く様子が印象的で、「北海道に住んでいると当たり前に感じている生活が、本州に住んでいる方にとつては普通じゃないんだなあ…。」改めて感じました!



ツアーア参加者から「町での生活のイメージがより具体的になつた」「実際に暮らしている人と直接お話しできる機会がたくさんあって良かった」など感想をもらひ、楽しんでいただけてとても嬉しく思いました。

今回のツアーアをきっかけに、移住までは行かなくとも、「また阿寒町に来たい!」と思っていただけたことが一番の成果だと感じています。

ご参加くださった皆さんの意見を参考にし、今後の活動へ活かしていくます。

## ツアーアを振り返って…

私たちのSNSはこちらから!



日々の活動や阿寒町のお店、おすすめスポット、イベント情報などを発信しています!

農村地域人材

育成推進員



小川 周次

## 3年ぶり！酪農 体験受入が開催！



9月20日～22日、JA阿寒農協青年部が主催する酪農体験受入が行われました。北海道大学、帯広畜産大学、酪農学園大学の酪農サークルに所属している男女計15名が参加し、JA阿

寒青年部の農家5戸(浅野牧場、今村牧場、ゆっぱないファーム、城川牧場、松下牧場)に通い、朝晩の搾乳や餌やり体験、農場の見学や意見交流が行われました。解散式で感想を共有しましたが、ほぼ全員の学生が「本当に来てよかったです。体験をさせてくれた農家の皆さんありがとうございました」と口を揃えていたことがとても印象的でした。各関係者の皆様、ありがとうございました！



推進員

アドベンチャーラベル

阿寒湖



アーネスト モク  
大川 彩果

## スイスで道東の 魅力を伝える！



10月3日から6日にかけてスイスのルガノにて年に一度のアドベンチャーラベルの世界的なサミットが開催されました。我々隊員も現地に赴き、各国の旅行会社のバイヤーやメディ

ア関係者に向けて阿寒湖を中心とした道東の魅力を直接お伝えしてきました。来年は北海道での開催が控えていることもあり、多くの人々から「来年が楽しみだ！」という好意的な印象を受けました。来年に向けて今回できた繋がりを育んでいきます！



普及推進員

観光振興・地場産品



本間 忍

## 音別地域でも発見！



和紙の原料に「ねり」という、紙を漉く際に粘り気を持たせるための粘剤が使用され、天然の粘剤の一つとし

て「ノリウツギ」という植物があります。実は北海道にも自生している植物で、「音別地域にも自生しているのかな？」と、ノリウツギが育つそうな場所を散策してみたところ、見つけました！

天然の粘剤は栽培量が少なく、現在富貴紙の粘剤は化学合成剤が使われていますが、今後ノリウツギを富貴紙の原料として使用できるよう模索していきます。